

2022年度 タスクフォース 知財政策動向TF



2022年9月8日

知財政策動向TF リーダー

浅野 弘揮

(日鉄諮詢(北京)有限公司(日本製鉄北京事務所))

1. 参加企業・団体

本田技研工業（中国）投資有限公司	富士通（中国）有限公司	日立（中国）有限公司
日産（中国）投資有限公司	東芝（中国）有限公司	三菱電機（中国）有限公司
京瓷（中国）商贸有限公司	奥林巴斯（北京）销售服务有限公司	威可楷（中国）投資有限公司
ソニー（中国）有限公司	安川電機（中国）有限公司	富士電機（中国）有限公司
花王(中国)研究開発中心有限公司	AGC（中国）投資有限公司	JETRO香港事務所
日鉄諮詢(北京)有限公司(日本製鉄北京事務所)		

順不同、16社・団体が参加

2. テーマ・活動方針・内容

リーダー:日本製鉄(浅野)、副リーダー:JETRO香港(松本→[島田](#))

☆我々は中国現地駐在員なんですから、**現地に居なければできないことをやりましょう！！**

☆我々は中国IPGメンバーなんですから、**個社ではできないことをやりましょう！！**

◆個社でフォローするのは非効率、中国IPGの場を活用。

◆**個社では実現が難しい「有識者ヒアリング」を複数回設定。**

◆自社ビジネスに有利な知財戦略の立案・実行に繋がれることを期待。

【2022年度活動内容】

(1)「**有識者との勉強会**」を、**5回開催(隔月)**。

TFメンバー限りという条件のもとで、有識者から「生の情報(ネット検索では得られない最新情報・本音等)」を引き出しましょう！

(4月までに勉強会テーマ・深堀り調査レポートテーマ等の事前アンケート実施、第1回勉強会は6月からスタート。)

①勉強会前月： **有識者への質問案**(各社1問以上)集約、討議(優先順位付け、メンバー内での事前意見交換)。

[+ 前回勉強会の後月内容実施]

② “ 当月： **有識者との勉強会**。

(各自の質問に対する有識者回答・討議内容を各自が文字化→会議録まとめ担当へ送付(会議録作成))

③ “ 後月： **会議録をもとにディスカッション・深堀り**(必要に応じ有識者へフィードバック)。

[+ 次回勉強会の前月内容実施]

(2)「**深堀り調査レポート作成(外部委託)**」。

年度の早いタイミングでテーマを選定し、調査・分析内容を十分に検討・精査して発注する。(内容が絞り込めなければ発注しない、)

3. 年間スケジュール

- 第1回：4/15 (金)15:00-16:50 キックオフ(自己紹介・事前アンケート集計結果)、松本部長レポート紹介**完**
- 第2回：5/20 (金)15:00-16:50 勉強会前月準備、深掘りレポートテーマ議論、(松本レポート)**完**
- 第3回：6/17 (金)15:00-16:50 **第1回勉強会** (**梶谷先生**) **完**
- 第4回：7/15 (金)15:00-16:50 後月反省・前月準備、深レポート議論、松本レポート、Chinaway意見交換**完**
- 第5回：8/19 (金)15:00-16:50 **第2回勉強会** (**刘春田先生**) **完**
- 第6回：9/16 (金)15:00-16:50 後月反省・前月準備、深レポート議論、島田レクチャー、Chinaway意見交換
- 第7回：10/21(金)15:00-16:50 **第3回勉強会** (有識者と接触中)
- 第8回：11/18(金)15:00-16:50 後月反省・前月準備、深掘りレポートテーマ決定・発注準備
- 第9回：12/16(金)15:00-16:50 **第4回勉強会** (有識者と接触中)
- 第10回：1/12(木)10:00-11:50 後月反省・前月準備
- 第11回：2/17(金)15:00-16:50 **第5回勉強会** (有識者候補あり)
- 第12回：3/7 (火)15:00-16:50 後月反省・**深掘りレポート報告会**

上記定期会合に加え、不定期の会合・ヒアリング等が発生する可能性あり。

4. 活動実績

＜ 本TFは「**個人単位の登録**」 ～各人が主体的に、メンバー全員で活動～ ＞

第1回(4/15)：キックオフ(自己紹介・事前アンケート集計結果)、松本レポート紹介(次頁)

●事前アンケート集計結果

(1)**有識者との勉強会**：①希望テーマ、②勉強会希望内容(関連資料)、③希望講師または推薦講師

産業政策	特定分野の知財関連 テーマ	知財戦略/マネジメント・ 専利導航	知財実務
4件	4件	4件	4件

(2)**深掘り調査レポート**：①希望テーマ、②レポート希望内容(関連資料)

産業政策	特定分野の知財関 連テーマ	地方知財政策	知財戦略/マネジメ ント・専利導航	知財実務
4件	1件	2件	3件	4件

●有識者との勉強会(第1回6/17)に向けて

質問Q：全メンバー(各人1問以上)提出→ 10項目に集約し第1回講師へ提示・事前打合せ完了

第2回(5/20)：勉強会前月準備、深掘りレポートテーマ議論スケジュール確認

●各自コメント(別紙)紹介（梶谷先生資料①～⑤）

- ① 中国のイノベーション動向と社会の変化(2019.3)
- ② 「情報独裁国家」統治のかたちー中国・産業政策と民営企業(2021.7)
- ③ 「幸福な監視国家」の経済学ー産業政策・監視技術・文化対立(2022.1)
- ④ 「構造問題解決に向けた最新経済・産業政策」(2022.1)
- ⑤ 習近平政権の成長戦略について「国内大循環」と「共同富裕」は両立するか(2022.2)

●我々の関心事項（順不同）

- 1. 政府・共産党中央における、経済政策（知財政策含む）の検討・意思決定プロセス
- 2. 米中摩擦を踏まえた国産化政策（特に、中国が独自開発（標準化含む）に注力する分野）
- 3. 政府の知財・イノベーション政策が現在の中国の産業構造に与えた影響（個別分野にフォーカス）
- 4. グリーン環境保護産業（戦略性新興産業の一つ）における重点産業分野と政策
- 5. 知財政策における「量から質への転換」の背景（「質の高い成長」等）や政策の全体像
- 6. イノベーションにおける大学の位置づけ、大学発知財の活用政策とスタンス（オープンか独占か）
- 7. 中国におけるオープンソースの発展状況や中国企業のビジネスモデル
- 8. オープンイノベーションとスマート製造に関する中国の戦略
- 9. 中国政府や企業による、技術キャッチアップから経営戦略決定までにおける公開情報（特許情報等）分析の活用
- 10. 地方ごとの産業政策の特色

第3回(6/17)：第1回勉強会（梶谷先生）

●勉強会テーマ：「中国の産業政策とイノベーション」

1. よみがえる産業政策と中国経済
2. ハイテク企業の育成と「情報独裁」
3. 「政府引導基金」を通じた産業政策とその評価
4. コロナ後の経済成長戦略と「共同富裕」
5. まとめ

- ① 中国政府の産業政策は、確かに特定産業や国有企業を優遇し、「市場をゆがめる」ものもあるが、研究開発への補助金、研究開発費に関する税額控除、複雑なバリューチェーンに対応した制度など多くは現在の経済学の潮流から見ても十分評価に耐えるもの。
- ② 同時に、資源の効率的な配分をもたらすという意味で、経済学的に評価されるものであったとしても、必ずしもリベラルな価値観に合致するものではない。
- ③ 米中対立の要因となっている政府引導基金の存在は、強調されすぎている感あり。
- ④ 2020年以来の大手プラットフォーム企業への締め付けには、国際的な潮流を踏まえた合理的な競争政策、という側面と、「水に落ちた犬を打つ」という過剰な社会制裁的な側面が共存。
⇒これをもって産業政策の後退とは言えない。

第4回(7/15) : 後月反省・前月準備、深レポ議論、**松本レポート**、Chinaway意見交換

●JETRO香港/松本部長レポート紹介

○専利導航関連

- ・進む、中国版IPランドスケープ「専利導航」に注目を！

https://www.jetro.go.jp/ext_library/1/world/asia/cn/ip/pdf/ip_20220222.pdf

- ・中国における半導体集積回路産業の専利導航分析レポート概要

<https://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/ip/analysis/ebfafdcd8b7b9cf3.html>

- ・中国版「特許出願技術動向調査」の紹介

https://www.jetro.go.jp/ext_library/1/world/asia/cn/ip/pdf/rphk_ip20200604.pdf

○知財マネジメント関連

- ・中国版 ISO 56005 国家標準「イノベーションマネジメント～知財マネジメント・ガイダンス～」

https://www.jetro.go.jp/ext_library/1/world/asia/cn/ip/pdf/rphk_ip20210326.pdf

○中国企業動向関連

- ・中国版「知的財産活動調査」2020年版の概要紹介

https://www.jetro.go.jp/ext_library/1/world/asia/cn/ip/pdf/rphk_ip20210526.pdf

○一覧

<https://www.jetro.go.jp/world/asia/cn/ip/analysis.html>

○SEP関連

- ・5G時代の覇権争いに向け法的なロジック強化を急ぐ中国

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2022/87dc29dac8deae6d.html>

第5回(8/19)：第2回勉強会（刘春田先生）

●勉強会テーマ：「中国における知的財産政策及び司法環境」

＜参考資料＞

- ①《民法典》是知识产权的法律母体和精神家园(民法典実施に伴うコメント)
- ②跨越世纪的伟大觉醒——发现创造和知识产权(中国イノベーションに関するコメント)
- ③第三次著作权法修改送审稿的进步和我们的期待(第三回著作権法送审稿に関するコメント)
- ④会议实录 | 刘春田：知识产权战略成功实施的基本条件(最近の刘春田先生スピーチ)
- ⑤刘春田先生の最近のコメント(2022-08-05)

●原文

<https://mp.weixin.qq.com/s/Y7krawGd32aweBBBTvVW6Q>

- ・民法および知的財産制度は、事業環境の法的保護を提供する
- ・私的権利の平等かつ効果的な保護は、ビジネス環境の保護である
- ・外界への開放を堅持し、良好な国際ビジネス環境を構築する

深掘りレポートテーマ議論

<スケジュール>

6/20 : 昨年度の調査報告書をTFメンバー全員に配布 **完**

第4回 : 7/15 深レポ議論、[Chinaway意見交換](#) **完**

昨年度TFレポート・ppt(配布)、尹社長との意見交換実施

第6回 : 9/16 深レポ議論、[Chinaway意見交換](#)

第8回 : 11/18 深掘りレポート**テーマ決定・発注準備**

第12回 : 3/7 **深掘りレポート報告会**

●事前アンケート集計結果

深掘り調査レポート : ①希望テーマ、②レポート希望内容(関連資料)

産業政策	特定分野の知財関連テーマ	地方知財政策	知財戦略/マネジメント・専利導航	知財実務
4件	1件	2件	3件	4件

＊参考(前年度)2021年度の活動内容

(1) 十四次五カ年計画の学習 (2021.5-9)

- ・メンバー間の相互学習
- ・各メンバーが学習・共有化した資料の纏め（112頁）を成果として取得

(2) 知財強国建設綱要及び知財十四次五カ年計画の学習 (2021.10-2022.1)

- ・政府系シンクタンクによる解説、意見交換 ※参加メンバー限定
- ・ユーザーサイド（北京魏啓学法律事務所）による解説、意見交換

(3) 中国重点産業とその関連する知財政策に関する学習 (2022.1-3)

- ・中国カーボンニュートラル戦略と知財政策に関する解説、意見交換／Uzabase
- ・戦略性新興産業及び関連する発展政策（特に知財政策）に関する調査レポート作成、解説／Chinaway